

償却資産申告書の記入例

押印は不要です。

3 個人番号又は法人番号
13桁のナンバー（個人の場合は左側1マスを空けて12桁）を記入してください。

申告に回答する者については、個人の場合は、所有者様のお名前をご記入ください。
税理士等については、該当の場合のみご記入をお願いします。

該当する方を○で囲んでください。
「課税標準の特例」に該当がある場合は、必要資料を添付してください。

1 住所
【法人の場合】
本店所在地をご記入ください。
【個人の場合】
所有者の住所をご記入ください。

2 氏名
【法人の場合】
会社名と代表者名をご記入ください。
【個人の場合】
所有者の氏名をご記入ください。（屋号がある場合は、ご記入をお願いします。）

(ロ)前年中に減少したものの
前年中（前年1月2日～今年1月1日）に減少した償却資産について、それぞれ取得価額の合計をご記入ください。（廃棄、売却など）

(ロ)前年中に取得したものの
前年中（前年1月2日～今年1月1日）に取得した償却資産について、それぞれ取得価額の合計をご記入ください。（新品取得、中古取得など）

令和 ○年 ○月 ○日		令和 ○○ 年度		※ 所有者コード	
受付印 (あて先) 藤岡市長		償却資産申告書 (償却資産課税台帳)		記入不要	
1 (ふりがな) 住所又は納税通知書送達先	3 7 5 - 8 6 0 1 フジオカシナカクリス 藤岡市中栗須327番地 (電話 0 2 7 4 - 0 0 - 0 0 0 0)	3 個人番号又は法人番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 8	8 短縮耐用年数の承認	有 ・ 無
2 (ふりがな) 氏名 法人にあってその名称及び代表者の氏名	カブシキガイシャ フジオカ 株式会社 藤岡 代表取締役 藤岡 太郎	4 事業種目 (資本金等の額)	飲食業 (10 百万円)	9 増加償却の届出	有 ・ 無
屋号 ()		5 事業開始年月	平成 2 1 年 4 月	1 0 非課税該当資産	有 ・ 無
		6 この申告に回答する者の係及び氏名	経理課 ○○ ○○ (電話 0274-00-0000)	1 1 課税標準の特例	有 ・ 無
		7 税理士等の氏名	○○ ○○ (電話 0274-00-0000)	1 2 特別償却又は圧縮記帳	有 ・ 無
				1 3 税務会計上の償却方法	定率法 ・ 定額法
				1 4 青色申告	有 ・ 無
資産の種類	取 得 価 額	前年中に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構築物					
2 機会及び装置	7 550 000			2 000 000	9 550 000
3 船 舶					
4 航空機					
5 車輛及び運搬具					
6 工具、器具及び備品	1 500 000	1 000 000	1 200 000	1 700 000	
7 合計	9 050 000	1 000 000	3 200 000	11 250 000	
資産の種類	評価額 (ホ)	※ 決定価格 (ヘ)	※ 課税標準額 (ト)		
1 構築物					
2 機会及び装置				増加資産あり	
3 船 舶					
4 航空機				減少資産あり	
5 車輛及び運搬具					
6 工具、器具及び備品					
7 合計					
1 5 市(区)町村内における事業所等資産の所在地		① 藤岡市中栗須327番地			
1 6 借用資産 (有 無)		自己所有 借家			
1 7 事業所用家屋の所有区分		異動なし			
1 8 備考 (添付資料等)		備考			

1 5 資産の所在地
事業所や資産の所在地をご記入ください。
住所と同じ場合は、「住所と同じ」とご記入ください。

1 6 借用資産
該当する方を○で囲んでください。
該当がある場合は、貸主（リース会社など）の名称等をご記入ください。

1 7 事業所用家屋の所有区分
該当する方を○で囲んでください。

1 8 備考
該当するものを○で囲んでください。
前年中に所有権の移転があった場合には、異動年月日や移転元、移転先等をご記入ください。
その他、事業承継や清算結了など特筆すべき事項があればご記入ください。

※既に印字されている部分については、記入不要です。

種類別明細書の記入例

■増加の資産がある場合

令和〇〇年度

※所有者コード ※

記入不要

資産の種類
次の数字でご記入ください。
1: 構築物
2: 機械及び装置
3: 船舶
4: 航空機
5: 車両及び運搬具
6: 工具、器具及び備品

※異動コード
記入不要

種類別明細書（増加資産・全資産用）

所有者名
株式会社 藤岡

1 枚のうち
1 枚目

※異動コード	行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月		(イ) 取得価額	(ロ) 耐用年数	(ハ) 減価残存率	(ヘ) 価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要	
						年号	年 月					終年(率)	コード				
	01	2		太陽光発電設備	1	5	2 5	2,000,000	17	0.						1	2
	02	6		パソコン	6	5	2 10	1,200,000	4	0.						3	4
	03									0.							
	04									0.							
	05									0.							
				小計				3,200,000									

取得価額
資産の数量が複数ある場合は、合計の値をご記入ください。
例：パソコン：2台（1台：250,000円）
⇒500,000円

耐用年数
原則、法人税又は所得税の申告と同じ耐用年数をご記入ください。

増加事由
該当する数字を○で囲んでください。
1: 新品取得
2: 中古取得
3: 移動による受入
4: その他

摘要
特例適用や非課税該当など、その旨をご記入ください。

記入不要

■減少の資産がある場合

令和〇〇年度

※所有者コード ※

***** 減少した資産を2重線で削除してください。

種類別明細書

所有者名
株式会社 藤岡

1 枚のうち
1 枚目

※異動コード	行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月		(イ) 取得価額	(ロ) 耐用年数	(ハ) 減価残存率	(ヘ) 価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要	
						年号	年 月					終年(率)	コード				
	01	2	111111	太陽光発電設備	1	5	2 5	2,000,000	17	0.							
	02	6	222222	パソコン	6	5	2 10	1,200,000	4	0.							
	03									0.							
	04									0.							
	05									0.							
				小計				3,200,000									

減少した理由を記入ください。
(例：令和6年2月に(株)鬼石へ売却)

※種類別明細書が不足の場合は、お手数ですが複写のうえご記入ください。